

ふくしま 再生 短信

2021/10/7 ふるさと回帰フェアに飯館村チーム登場

移住から空間創造へ



二〇二一年十月十七日、有楽町の東京国際フォーラムで開催された「第十七回ふるさと回帰フェア」(写真1)のセミナー

においてふくしま再生の会理事・田尾陽一さんが「東日本大震災から十年 飯館村からのメッセージ」と題する報告を行い、再生の会からも多数の会員が詰め掛けた。(写真7)

このフェアの主催は認定NPO法人ふるさと回帰支援センター(高橋公理理事長)。飯館村はブース開設(写真2)、総来場者八千余名(写真3)。

支援センター設立は二〇〇二年十一月、初代理事長は立松和平さん(現在故人)。東京と大阪に事務所をおき、東京交通会館の事務所に移住相談ブースを設置。

セミナー一部「原発事



故から十年飯館村の現状と未来自

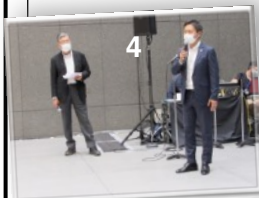
然と人間が共生する村へ。田尾さん「今日は村から七年来場。私は今八十歳、三年前に高齢移住者の一人として村へ。十年間の自分の経験、活発に動いている若い人の声、先ず四十四歳の杉岡誠村長の映像メッセージを聞いて下さい。杉岡村長へキャンパスは真っ白、楽しいふるさとをつくる意欲ある人求む!」

現在の村民登録五千三十四人、居住千四百七十五人、編入者百八十九人。

二千十一年菅野宗夫さん訪ね現地で共感し協働する再生の会設立で合意。測定から始め健康医療ケアやハウス作りなど進め国際ツアーは二〇カ国から数百人受け入れ。アートディレクター北川フラムさんとの協働企画進行中。農水省の農泊事業を受けて風と土の家ほか二棟建設し稼働中。

一方村

内のコメリの跡地空間プロジェクトが若い人たちに



り開始され、飯館村とは最先端の田舎、自然と人間が共生する循環型の村づくりをめざします。」

村議佐藤健太さん「昭和三十六年二つの村から飯館誕生。挑戦できることがゼロベースの魅力。アフターコロナは人間力が問われ、何でもできるのが百姓です。」(写真4、右健太さん・左田尾さん)



セミナー二部「移住者

／多拠点居住者トーク」。移住者・地域おこし協力隊員・合同会社MARBLING(マーブリング)CEO松本奈々さん

「私たちがソウゾウする「いなか」は、彩度が高い。ここには、一人ひとりが自分らしい生き方を選べる選択肢がある。多様な価値観を受け入れ、

大切にしている。」「(写真5、左松本さん・右矢野さん)

移住者・地域おこし協力隊員・会社経営・松尾洋輝さん(写真6)「元

コメリホームセンター活用は最先端の田舎です。」

十年間廃墟になっていたコメリ跡地は松本さんたちのマーブリングの手によって再生、テナントのブース用資材が搬入されプレイベントも既に行われている。企業の

事業拠点、研究施設、ツアー事業も計画中、実現の第一号はカフェ開店。セミナー終え健太さん「三十四年後の未来を今生きています」。(文責&撮影・若林一平)

「いなか」は、彩度が高い。ここには、一人ひとりが自分らしい生き方を

